

思史の会東京図書一覧

第 29 回 (2025 年 12 月 15 日)

赤松明彦『ヒンドゥー教 10 講』(岩波新書、2021 年)

第 28 回 (2025 年 10 月 17 日)

麻田雅文『日ソ戦争 帝国日本最後の戦い』(中公新書、2024 年)

第 27 回 (2025 年 8 月 7 日)

レイチエル・カーソン著、青樹築一訳『沈黙の春』(新潮社、1974 年)

第 26 回 (2025 年 6 月 10 日)

E.M.フォスター著、小野寺健訳『インドへの道』(河出書房新社、2022 年)

第 25 回 (2025 年 4 月 11 日)

高田宏『言葉の海へ』(新潮社、1984 年)

第 24 回 (2025 年 2 月 4 日)

宇野重規『保守主義とは何か』(中央公論新社、2016 年)

第 23 回 (2024 年 11 月 18 日)

ウリケ・シェーデ著、渡部典子訳『シン・日本の経営』(日本経済新聞出版、2024 年)

第 22 回 (2024 年 9 月 25 日)

河上肇『貧乏物語』(岩波書店、1947 年)

第 21 回 (2024 年 7 月 24 日)

宇野重規『民主主義とは何か』(講談社、2021 年)

第 20 回 (2024 年 3 月 22 日)

深町英夫『孫文』(岩波書店、2016 年)

第 19 回 (2024 年 2 月 8 日)

成田龍一『大正デモクラシー』(岩波書店、2007 年)

第 18 回 (2023 年 11 月 15 日)

斎藤幸平『人新世の「資本論」』(集英社、2020 年)

第 17 回 (2023 年 9 月 12 日)

岡本裕一郎『ポスト・ヒューマニズム テクノロジー時代の哲学入門』(NHK 出版、2021 年)

第 16 回 (2023 年 7 月 5 日)

渡辺尚志『武士に「もの言う」百姓たち』(草想社、2012 年)

第 15 回 (2023 年 5 月 10 日)

中村哲『アフガニスタンの診療所から』(筑摩書房、2005 年)

(新型コロナで中断)

第14回（2020年1月27日）

野中郁次郎、戸部良一、鎌田伸一他『戦略の本質—戦史に学ぶ逆転のリーダーシップ』（日本経済新聞出版、2008年）

第13回（2019年10月2日）

E.H.カー著、原彬久訳『危機の二十年—理想と現実—』（岩波書店、2011年）

第12回（2019年7月17日）

ビアス著、西川正身編訳『新編 悪魔の辞典』（岩波書店、1997年）

第11回（2019年5月17日）

宇沢弘文『自動車の社会的費用』（岩波書店、1974年）

第10回（2019年3月25日）

魯迅作、竹内好訳『阿Q正伝・狂人日記他十二篇（呐喊）』（岩波書店、1955年）

第9回（2019年2月1日）

鹿島茂『渋沢栄一 上・下』（文藝春秋、2013年）

第8回（2018年12月5日）

イザヤ・ベンダサン『日本人とユダヤ人』（角川書店、1971年）

第7回（2018年10月2日）

桐野高明『医療の選択』（岩波書店、2014年）

第6回（2018年7月31日）

デューイ著、宮原誠一訳『学校と社会』（岩波書店、1957年）

第5回（2018年6月7日）

マキアヴェリ著、池田廉訳『君主論 新版』（中公文庫、2018年）

第4回（2018年4月13日）

仲正昌樹『ハンナ・アーレント 全体主義の起原』（NHK出版、2017年）

第3回（2018年2月2日）

若月俊一『村で病気とたかう』（岩波書店、1971年）

第2回（2017年12月26日）

森嶋通夫『なぜ日本は没落するか』（岩波書店、2010年、初出1999年）

第1回（2017年10月25日）

中江兆民『三醉人経綸問答』（岩波書店、1965年、初出1887年）

